年間授業計画 新様式例

青梅総合高等学校 令和8年度（3学年用） 教科　芸術　科目 工芸Ⅱ

教　科：　芸術　科　目：　工芸 Ⅱ　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　3 組

教科担当者：川澄　裕子

使用教科書：　工芸Ⅱ　１１６-日文・工Ⅱ－７０１

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術の各教科の特質について理解すると共に、意図した表現の技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫して、芸術のよさや美しさを深く味わう。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を愛好する心情を育てると共に、心豊かな生活や社会を創造する。

科目　工芸Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸の伝統と文化に幅広く関わる技能を身に付ける。	工芸の素材の特性、使用方法を知り、自分の意図した表現を制作する。	各題材、学習のねらいを明確にして、主体的に取り組むよう工夫する。また、工芸を愛好する感性を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元１ オリエンテーション 木工　「木彫文箱」の制作 【知識及び技能】 木の特性を理解して制作する。彫りの種類を理解させる。 【思考・判断・表現力等】 素材の特性を理解した上で彫りの美しさを発見し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫して生徒が工芸を愛好する心情や豊かな感性を育てる。	・指導事項 下絵を描かせ自分らしい美しい形を発見する。 ・教材 朴の木材、彫刻刀、切り出し刀、紙ヤスリ、ストッパー、水性ニス等を用い制作をする。	○	○	○	・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○	○	○	28
2学期	単元２ 焼き物（花瓶、マグカップ）などの制作 【知識及び技能】 土の特性を理解させる。陶器と磁器の違いを学ぶ。 【思考・判断・表現力等】 粘土の錬り方、手びねり、板作り。	教科 信楽土、、どべ、ヘラ、ビン、焼成器等を使用する。	○	○	○	・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○	○	○	12
	単元３ 「キーホルダー」の制作 【知識及び技能】 金属の特性を理解して制作する。 糸のこ盤の操作を習得する。	・教材 真鍮、紙、マジック、電動糸のこ盤、 ペンチ、金属ヤスり、金属たわし等を 使用する。	○	○		・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○		○	12
	単元4 「文鎮」の制作 【知識及び技能】 石材の特性を理解して制作する。 【思考・判断・表現力】 美しい形を創意工夫して仕上げる。	・教材 高麗石、マジック、紙、印刀、金属ノコギリ、サンドペーパー	○	○		・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○		○	6
3学期	単元５ 「銅箔レリーフ」 【知識及び技能】 金属の特性を理解して制作する。。 【思考・判断・表現力等】 デザインをよく考え、美しくレリーフ状に仕上げる。	・指導事項 ボール紙、トレーシングペーパー、銅箔を使用して凹凸をつけ、レリーフ作品を作る。 ・教材 銅箔、ボール紙、鉛筆、ボールペン、新聞紙、金属たわし等。	○	○		・主体的に意欲をもって授業に参加しているか。 ・出欠はどうか。	○	○	○	16
										合計 78